

概要

- 令和7年度脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業については、令和7年1月27日に公示した「脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業公募要綱」(以下、公募要綱という)において、以下のとおり採択を行うこととしていた。

【公募要綱抜粋】

7. 採択方法

選考に当たっては、循環器病対策推進協議会の下に設置された総合支援委員会の委員が審査を行う。

審査に当たっては、別添の脳卒中・心臓病総合支援センターモデル事業【評価書】に基づき、原則、書面審査により行うこととし、総合支援に係る内容の他、都道府県における循環器病対策推進計画のこれまでの進捗状況、自治体の規模、地理的な要因などについても考慮に入れ、全体としてのバランスを踏まえて決定する。

- 公募要綱に基づき、10県14医療機関からの応募があり、医療機関から提出された事業計画書等について、総合支援委員会による書面審査を行った。
- 書面審査の結果を取りまとめ、評価点及び令和4年度から令和6年度までの本モデル事業の採択状況なども含めた全体のバランスを考慮した上で、総合支援委員会にて別表のとおり8県の医療機関を採択した。

別表

No	都道府県	事業者名
1	秋田県	国立大学法人秋田大学医学部附属病院
		地方独立行政法人秋田県立病院機構秋田県立循環器・脳脊髄センター
2	千葉県※	国立大学法人千葉大学医学部附属病院
3	新潟県※	国立大学法人新潟大学医歯学総合病院
4	静岡県※	国立大学法人浜松医科大学医学部附属病院
5	島根県	国立大学法人島根大学島根大学医学部附属病院
6	高知県	国立大学法人高知大学
7	大分県	国立大学法人大分大学医学部附属病院
8	沖縄県	国立大学法人琉球大学琉球大学病院

# 脳卒中・心臓病等総合支援センター モデル事業

## 事業計画書 補足資料

### ～脳卒中及び心臓病の予防全国第一位を目指して～



千葉大学大学院医学研究院 循環器内科学

准教授 近藤 祐介 [act.kondo@chiba-u.jp](mailto:act.kondo@chiba-u.jp)



image

# ■ 千葉県におけるセンター設置の必要性背景

## 1. 「心疾患と脳血管疾患」での死亡率22.6%

千葉県における心疾患、脳血管疾患での死亡率は、全国平均よりも高く、令和4年の主要死因別死者数データでは合計22.6%と高くなっています。

## 2. 高齢化社会の進展

千葉県も日本全国と同様に、高齢化社会が進んでいます。

高齢者は脳卒中や心臓病のリスクが高く、これらの疾患による健康問題や死亡が増加しています。高齢化に伴い、これらの疾患の患者数は今後も増加すると予測されています。

## 3. 生活習慣病の増加

現代の生活習慣の変化により、肥満や高血圧、糖尿病などの生活習慣病が増加しています。

これらは脳卒中や心臓病の重要なリスクファクターであり、県民の健康管理と予防策の強化が求められています。

脳卒中・心臓病等総合支援センターの設立は、これらの問題に対応するための重要な一歩です。

センターでは、専門的な治療の提供はもちろん、予防プログラムの実施、早期発見のためのスクリーニング、地域医療機関との連携強化など、包括的な支援が行われることになります。

これにより、千葉県民の健康増進と生活の質の向上が期待されます。

# ■ 総合支援における実施体制 vol.1

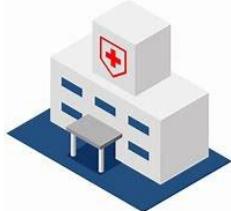


千葉県

千葉県循環器病  
対策推進協議会



千葉ブレインハート連



県内医療機関



かかりつけ医

診療連携

研修会、勉強会

脳卒中・心臓病等総合支援センター  
包括的脳卒中センター  
千葉大学医学部附属病院

連携・協力

連携・協力

千葉心電学研究会  
Erekaru

心不全ネットワーク

啓発（情報提供）

相談支援



患者・家族

研修会、勉強会

# 総合支援における実施体制 中心組織 vol.2

## 千葉大学医学部附属病院 循環器内科

准教授	近藤 祐介	本事業の管理遂行責任者
診療講師	岩花 東吾	心不全治療・心不全啓発事業
特任講師	中野 正博	同上不整脈治療・不整脈啓発活動
特任講師	梶山 貴嗣	同上
特任助教	龍崎 智子	同上
看護師	鳴海 頌子	相談窓口業務
看護師	阿部 瑞貴	同上
教授	小林 欣夫	本事業の監督

## 千葉大学医学部附属病院 心臓血管外科

教授	松宮 譲郎	心不全診療、心移植の支援、成人先天性心疾患の支援、移行期医療支援センターとの連携
診療講師	渡邊 優子	同上

## 千葉大学医学部附属病院 病院経営管理学研究センター

診療講師	神田 真人	脳卒中及び循環器疾患の救急診療の支援
------	-------	--------------------

## 千葉大学医学部附属病院 患者支援部

部長 特任教授	山中 義崇	本事業の管理・遂行、各医療圏との連携、相談窓口業務の総括
副部長 MSW	市原 章子	各医療圏との連携、相談窓口業務

## 千葉大学医学部附属病院 包括的脳卒中センター

センター長 教授	樋口 佳典	脳卒中診療、脳卒中予防の支援、移行期医療支援センターとの連携
副センター長 診療講師	田島 洋佑	同上
副センター長 特任講師	吉田 陽一	同上
診療教授	村田 淳	リハビリテーションの支援

## 千葉大学大学院看護学研究院 看護学研究科

教授	眞嶋 朋子	心不全診療、相談窓口業務の支援
助教	佐野 元洋	同上

## 千葉大学医学部附属病院 小児科

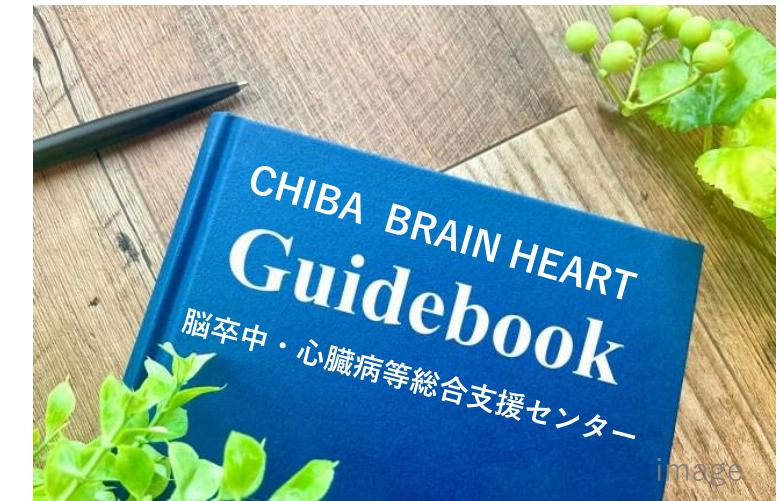
教授	濱田 洋通	小児心疾患診療、成人先天性心疾患の支援、移行期医療支援センターとの連携
診療講師	日野 もえ子	同上

# ■相談窓口の設置

千葉大学医学部附属病院内に「脳卒中・心臓病等総合支援センター」を設置

支援内容：医療連携・地域連携、疾病情報提供、福祉介護サービスの相談、経済的問題、家族支援、両立支援等を行う

- 医師、看護師、MSW、リハビリ専門職を中心に専任・専従職員含めて20～25名体制で対応
- 相談手段は「対面」「電話」「メール」を基本として、その他状況に応じて郵送、WEBなどで対応
- 独自に作成したホームページ、リーフレット、チラシ、動画の他、学会・自治体製作のツールも併せて使用



# ■相談窓口サテライトの設置 [CHIBA BRAIN HEART連]

千葉県内の9つの医療圏において、院外連携を行う医療施設に関しては、循環器研修施設・研修関連施設（55病院）より協力を募る。

**千葉ブレインハート連 登録フォーム**

千葉県「脳卒中・心臓病等総合支援センター」は県内に千葉ブレインハート連携（ハート連）を設置いたしました。

千葉県の『脳卒中および心臓病の予防全国第一位』を目指すことを掲げ、千葉県内の病院間での連携強化を掲げ、年間複数回の研修会、勉強会、情報交換をする場を企画運営していきます。

ご参画いただける施設は下記ご登録をお願いいたします。

皆様のご協力を賜れますよう伏してお願い申し上げます。

お問い合わせ: 千葉大学医学部附属病院内 脳卒中・心臓病等総合支援センター 事務局  
登録内容のご変更および退会申請をご希望の方は [sample@chiba-bh.or.jp](mailto:sample@chiba-bh.or.jp)（サンプル）までご連絡をお願い致します。

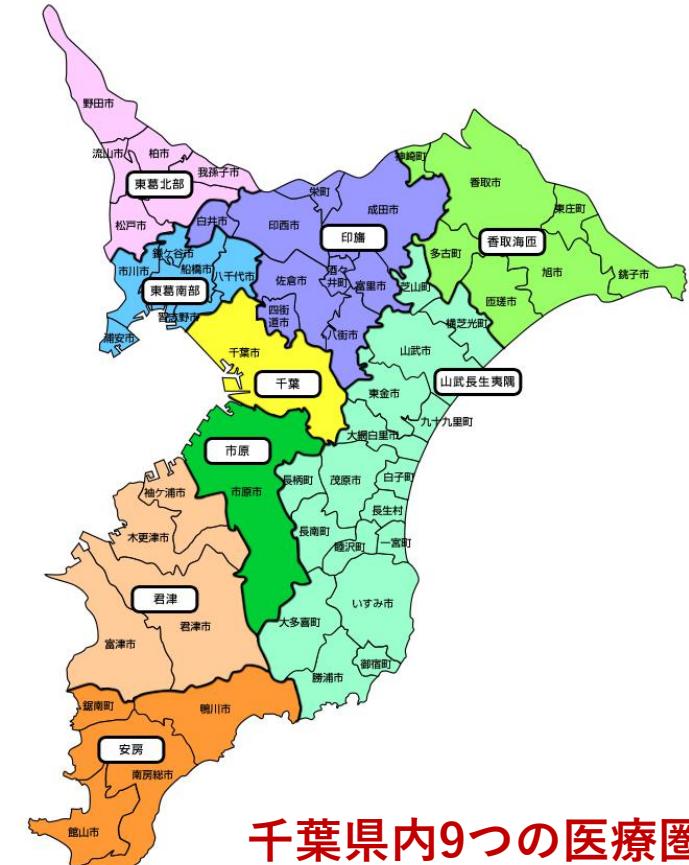
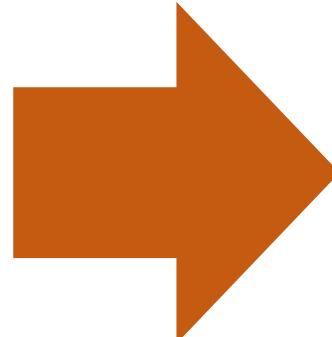
アカウントを切り替える 

✉ 共有なし

\* 必須の質問です

施設名 \*

回答を入力



千葉県内9つの医療圏に  
サテライト施設を設置

# ■ 予防に関する内容を含めた情報提供、普及啓発

## ● 総合支援センターの普及

- ① 県民にとってわかりやすく、有益な ホームページ の作成と情報発信
- ② 各病院院内、薬局等への 掲示用ポスター、配布用チラシ の作成
- ③ 各病院の院内 掲示用ポスター、配布用チラシ の作成
- ④ ボールペン、クリアファイル、バッグなど ノベルティ 製作と配布
- ⑤ メディアや自治体との協力のもと情報拡散

## ● 県民への疾患予防に関する情報発信

- ① 無料の 県民公開講座 の開催
- ② 県民への疾患予防につながる リーフレット の製作と配布

## ● 学生への出張授業

- ① 県内の学校で講義

リーフレットイメージ



ノベルティイメージ



HPイメージ



NEWS

- 4/23 千葉県民のための無料公開講座を開催します。
- 3/30 啓発イベントを行います。
- 3/18 chiba brain heart手帳が完成しました。



千葉県脳卒中・心臓病等総合支援センターは、予防、早期発見、治療、リハビリを通じて、心脳血管疾患の患者支援を目指します。

image

動画イメージ

CHIBA Brain Heart Vlog  
健康ハック！  
心と脳を守る魔法の10ステップ」



# ■ 予防に関する内容を含めた情報提供、普及啓発

## ●脳卒中と不整脈の啓発

既に実績がある一般社団法人千葉心電学研究会 (Erekaru) と連携・共同して県民への無料公開講座や脳卒中と不整脈の啓発イベントを開催する。

### ・県民公開講座 年間4回開催

※2025/4/19と8/2は決定。その他2025年中に3回の開催を予定。第7回までで700人以上の県民が参加。



開催時間 / 14:00～16:00  
会場 / 千葉市生涯学習センター  
入 場 料 全席無料 申込不要  
お問い合わせ 一般社団法人 千葉心電学研究会  
info@chiba-shinden.or.jp



開催時間 / 15:00～17:00  
会場 / 五井グランドホテル  
入 場 料 全席無料 申込不要  
お問い合わせ 千葉心電学研究会  
info@chiba-shinden.or.jp

会場地図  
近藤祐介 先生 千葉大学大学院医学研究科  
循環器内科学 准教授  
1. 不整脈から寝たきりに?  
脳卒中を予防する  
カテーテル治療を知ろう!

近藤 祐介 先生  
千葉大学大学院医学研究科  
循環器内科学 准教授  
2. 不整脈を治す  
カテーテルアブレーションを知ろう!

梶山 貴嗣 先生  
千葉大学大学院医学研究科  
不整脈先端医工学 専任講師  
3. カテーテルアブレーションの  
最新プロジェクトについて知ろう!

中野 正博 先生  
千葉大学大学院医学研究科  
不整脈先端医工学 専任講師  
会場地図  
中谷 晴昭 先生 千葉大学 理学・医学部  
近藤 祐介 先生 千葉大学大学院医学研究科  
循環器内科学 准教授  
今井 均 先生  
一般社団法人 千葉心電学研究会  
info@chiba-shinden.or.jp

主 催 一般社団法人 千葉心電学研究会  
https://www.chiba-shinden.or.jp/

## ●心不全管理とACPの情報提供

千葉心不全ネットワークと連携・共同して県民への無料公開講座や緩和ケアを含めた心不全管理とACPの情報提供のセミナーを開催する。

### ・県民公開講座 年間4回開催

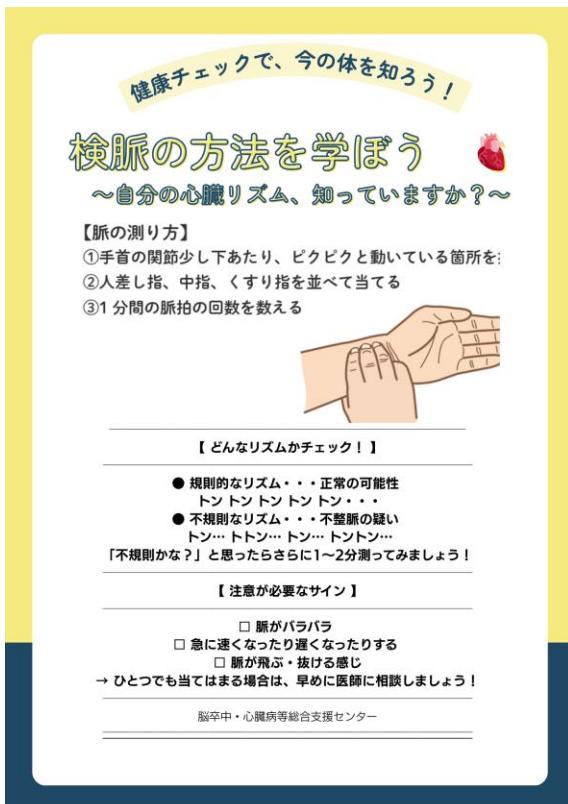
・在宅医療従事者を対象とした心不全セミナーを年間3回の開催を予定。第18回までで計140施設以上、延べ330名以上が参加。



# ■ 予防に関する内容を含めた情報提供、普及啓発

## ●検脈の啓蒙

心房細動をはじめとする不整脈の早期発見を目的とした検脈の啓発活動を推進し、住民のセルフチェック習慣の定着と、脳卒中予防に資する一次予防の強化を図る。検脈を契機としたスクリーニングと医療機関との連携により、地域全体での循環器病対策の質的向上が期待される。



## ●脳梗塞の初期症状の啓蒙

脳梗塞の症状をいち早く見みつけ、専門医療機関を受診するという、「ACT-FAST」運動を推進していく。  
(「FAST」とは、脳卒中で起おこる典型的な3つの症状の頭文字と、発症時刻「T=Time」を組合せた言葉です。「FAST」という言葉からもわかるように、脳卒中治療は時間 = 「Time」との戦いです)



# ■ 予防に関する内容を含めた情報提供、普及啓発

## ● データベースを活用した啓発

令和4年度に千葉大学医学部附属病院が千葉県庁およびちば県民保健予防財団の協力のもとに施行した、千葉県庁職員約1万人の心電図データベース事業\*の成果を活用し、心房細動に関する脳卒中、認知症、心不全の予防、またこれらの早期発見、治療法の啓発に努めます。

\* 米国心臓病学会2024にて発表

## ● 千葉県内の学校で講演（子どもたちへの啓発）

千葉県「脳卒中・心臓病等総合支援センター」では、医師が学生向けに心臓や脳に関する無料講演会・ワークショップを計画しています。

この取り組みにより、若年層の健康意識の向上と予防医学の重要性を啓発することを目的としています。早期からの正しい知識の習得を通じて、長期的には生活習慣病の予防に繋がり、医療費の削減にも寄与します。



# 医療機関（かかりつけ医）を対象とした研修会、勉強会等の開催

## 1. 研修会・勉強会・セミナーの開催

### ・専門的な知識の共有

脳卒中や心臓病の最新の治療法、予防策、リハビリテーションの方法など、専門的な知識を共有する研修会やセミナーを定期的に開催します。これらのプログラムは、最新の医学研究や臨床試験の成果を基に構成され、参加する医療従事者の専門性の向上を図ります。

## 2. 多職種間の意見交換の場

### ・チーム医療の推進

医師、看護師、リハビリテーションスタッフ、栄養士など、多職種が参加する意見交換の場を設けます。これにより、チーム医療の重要性を強調し、患者中心の包括的なケアの提供を目指します。また、実際の臨床現場で直面する課題についての討議を通じて、相互理解と協力体制の構築を促進します。

## 3. オンラインとオフラインのハイブリッド開催

### ・アクセスの容易さ

物理的な距離や時間の制約を克服するため、オフラインのみならず、オンラインやオンオフハイブリッド形式での開催を積極的に行います。これにより、遠隔地にある医療機関の医療従事者も参加しやすくなり、より多くの医療従事者が最新の医療情報や知識を共有できるようになります。

## 4. メーリングリストや掲示板の活用も検討

### ・情報共有の促進

メーリングリストやオンライン掲示板を活用して、参加者間での情報共有や質問、議論を促進します。これにより、研修会やセミナーの間だけでなく、日常的に専門知識や臨床経験を共有するコミュニティが形成されます。また、臨床現場での疑問や困ったことが即座に相談できる環境を提供し、医療従事者のスキルアップと患者ケアの質の向上を支援します。

たくさんのみなさまの



そろそろ  
脳卒中について  
知りたいな…

子どもの  
不整脈なんて  
知らなかつた

千葉大学病院  
第9回  
県民公開  
講座

2025  
8月2日土 14:00~16:00

千葉市生涯学習センター2Fホール  
\*JR千葉駅「千葉公園口」から徒歩8分  
\*千葉モノレール「千葉公園駅」から徒歩5分

01 甘く見ちゃいけない「失神」の正体とは？  
南口 仁 先生 / 大阪けいさつ病院 循環器内科 先進不整脈治療センター副部長

02 「子供の命を守ろう」知っておこう子供の不整脈  
近藤 祐介 先生 / 千葉大学医学部附属病院 循環器内科

03 脳卒中の前兆を知る！「ACT-FAST」を覚えよう！  
田島 洋佑 先生 / 千葉大学医学部附属病院 脳神経外科

\*パネルディスカッション\*  
みんなの疑問を解決！脳卒中と心臓病の深い関係性とは

\*特別コーナー\*  
現役看護師による、脳梗塞チェック＆検脈チェック

千葉心電学研究会  
info@chiba-shinden.or.jp  
公式ホームページ▶

入場無料  
申込不要  
千葉大学マスコット  
イノ

ご来場おまちしております

主催 千葉大学医学部附属病院 千葉県立病院・心臓病等総合支援センター / 一般社団法人 千葉心電学研究会  
後援 千葉県(予定) / 日本循環器学会 協賛 公益財団法人 ちば県民保健予防財団

# 120人以上の県民が参加！

